

愛翔・あいちビジネスプロジェクト ～ビジネスの視点で地域課題の解決を目指すカリキュラム開発～

地域産業界等と連携・協働した実践的なビジネス教育を推進するとともに、ビジネスの視点で自ら地域の課題を発見し、課題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組むことのできる能力と態度を身に付け、本県産業の発展を担う職業人の育成を目指す。

【育成したい生徒像】

地域（愛知県全域）の課題をビジネスの視点で捉え、経営資源を最適に組み合わせ、他者と協働して、地域ビジネスを展開できる人材

【令和2年度の目標】

目指すべき人材の育成のため、次の3つのプログラムについて研究開発を引き続き行う。

- ①地域ビジネス理解促進プログラム
- ②ビジネス教育力強化プログラム
- ③愛知版ビジネス連携プログラム

本研究を通して、課題発見能力・課題解決能力、コミュニケーション能力等、ビジネスを展開する上で必要な資質・能力の更なる向上を図る。

【令和2年度の実施体制】

本校生徒を対象とした

地域ビジネス理解促進プログラム

- ・地域企業講演会の実施（1年）
- ・ビジネスプランの作成（1年）
- ・既存商品改良の取組（1年）
- ・学校設定科目の先行実施（2年）
- ・定期的な販売実習の実施（3年）
- ・商品開発（3年）
- ・広告作成（3年）



教員の指導力を強化するための

ビジネス教育力強化プログラム

- ・カリキュラム・マネジメント研究会の実施
- ・各学科（国際ビジネス科、経理科、情報処理科、事務科）における授業改善の取組
- ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した教材開発



本県の商業の学びをより深いものにするための

愛知版ビジネス連携プログラム

- ・地域企業協働バンクの拡大
- ・県教育委員会主催「地域協働ビジネススキルアップ事業」を活用した実践的・体験的なビジネスプログラムの企画・運営
- ・商業教育フェアのリニューアルの検討

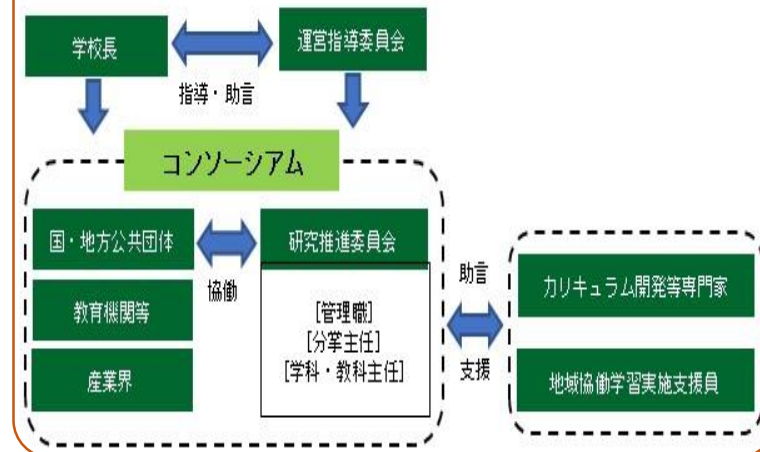


コンソーシアムの構築

地域ビジネスに関する実践的・体験的な学びの実現



【実施体制】



【成果】

- ・地域企業講演会やビジネスプランの作成等を通して、生徒の地域ビジネスへの関心、課題発見能力やコミュニケーション能力を向上させることができた。
- ・実践的なビジネス体験学習を通して、チームで取り組むことの大切さを理解させ、企画力を向上させることができた。
- ・学校のグランドデザインに沿ったカリキュラム開発を行い、教科横断的なカリキュラム・マネジメント実現に向けた体制を構築することができた。

【課題】

- ・地域協働推進連携校とのオンラインを活用した協働学習体制を構築していく必要がある。
- ・生徒の変容を測る検証方法を具体的に示し、教員間の共通理解を図る必要がある。
- ・地域ビジネスを考察するための補助教材の作成や一連のマーケティング活動を総合的・体験的に学ぶプログラムを取り入れていく必要がある。